

時間割コード	ドイツ語入門	ナンバリング	KB-GER-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	木4 (LPA) 木5(ST)	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	ドイツ語入門				
担当教員 (ローマ字表記)	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

ドイツ語入門 (1)～(7)

授業の概要/Course Overview

ドイツ語をはじめて学ぶみなさんに、初級ドイツ語の基礎をできるだけわかりやすく説明します。説明がすんだら、会話練習をくり返し、文法事項を確認します。そのあとは作文練習に挑戦します。練習問題は宿題 (レポート) にもなります。

キーワード/Keyword(s)

ドイツ語、独語、初修外国語、文法、ドイツ。

到達目標/Learning Objectives

①初歩的なドイツ語をおおむね理解し、聞き、話すことができるよう、発音の原則や規則動詞の現在時制などを修得する。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- (01)【授業内容】シラバスを用いたガイダンス、文字と発音、挨拶の表現。
【授業外学修】シラバスを事前に熟読し、教科書を購入、持参すること。
- (02)【授業内容】動詞の人称変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (03)【授業内容】規則変化動詞、seinとhabenの変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (04)【授業内容】不規則動詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (05)【授業内容】定冠詞・不定冠詞の格変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (06)【授業内容】話法の助動詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (07)【授業内容】復習と進度の調整。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (08)【授業内容】復習。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (09)【授業内容】不定冠詞類。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (10)【授業内容】定冠詞類。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (11)【授業内容】前置詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(12)【授業内容】分離動詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(13)【授業内容】動詞の三基本形、現在完了形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(14)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(15)【授業内容】総復習。小テスト（確認テスト）。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、練習問題の解答を確認すること。

*第2回から第14回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている、①文法事項習得のための平易な練習問題、②読み、書く力をつけるための練習問題、それぞれに取り組んでもらいます。とくに②は宿題（レポート）にもなりますから、授業外学習時間をきちんと確保してください。①、②ともに、解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックをおこないます。

*第15回は、「振り返り」として、小テスト（確認テスト）を実施します。終了後、教務情報ポータルシステムなどで解答例と解説を確認してください。

*予習・復習のポイントは、以下のとおりです：①かならず声に出して読む。②かならず単語ノートをつくる。③名詞の性、複数形も単語ノートに書き込む。④すべての単語の品詞に留意する。⑤名詞句、副詞句、前置詞句、zu不定詞句など、語句（＝複数の単語からなる1つのかたまり）に留意する。⑥定動詞（＝人称変化形）の位置（＝正置・倒置・後置）をとらえる。⑦定動詞と不定詞を区別する。⑧本動詞と助動詞を区別する。⑨主文か、副文（従属文）か、たんなる挿入句にすぎないか、つねに意識する。⑩教科書付属のCDが、すりきれるまで！くり返し聞き、みずから進んで学ぶ姿勢を身につける。

*ラーニング・コモンズを利用するなどして、履修者同士でさらに話し合いながら復習することができれば申し分ありません。

履修上の注意/Notes

教科書、ノート、辞書はもちろん、宿題やレポートを忘れないこと。遅刻は15分までしか認めません。3回遅刻したら1回欠席扱い。6回休んだら単位は認定されません。不明な点は人文社会科学部B205ドイツ語取りまとめ役の小泉淳二まで。オフィス・アワー：月曜と火曜の昼休み。

情報端末の活用

第15回めにアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォンなどを持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+：初歩的なドイツ語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。

A：初歩的なドイツ語を修得し、その構造を理解している。

B：初歩的なドイツ語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している

C：初歩的なドイツ語をある程度修得し、その構造をある程度理解している。

D：初歩的なドイツ語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

小テスト（確認テスト）60%、宿題（レポート）40%。評価の観点「到達目標」の①への接近度を「小テスト（確認テスト）」の結果および「宿題（レポート）」の記述から評価します。16週めの期末試験は実施しません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	ミニマムドイツ語
著者名	熊谷哲哉
出版社	朝日出版社

出版年	2019
ISBN	9784255254197.0
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	NHKテレビ 旅するドイツ語
著者名	
出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書2

書名	NHKラジオ まいにちドイツ語
著者名	
出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書3

書名	《最新版》ドイツの街角から ～素顔のドイツ その文化・歴史・社会～
著者名	高橋憲
出版社	郁文堂
出版年	2017
ISBN	9784261012651.0
教材費	1300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

その他

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	フランス語入門	ナンバリング	KB-FRE-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	木4 (LPA) 木5(ST)	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P STA	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	フランス語入門				
担当教員 (ローマ字表記)	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

フランス語入門

授業の概要/Course Overview

フランス語の学習経験ゼロの学生を対象に、フランス語によるコミュニケーション能力の基礎をつくります。初歩的なフランス語をおおむね理解し、聞き、話すことができるよう、発音の原則や規則動詞の現在時制などを修得します。

キーワード/Keyword(s)

初歩的なフランス語、コミュニケーション能力、発音の原則、動詞être、動詞avoir、動詞faire。

到達目標/Learning Objectives

1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。
 2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。
 3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンスと導入 (アルファベなど)
 第2回：つづり字の読み方と数字1から10
 第3回：名詞と冠詞の説明と簡単な練習
 第4回：動詞êtreの説明と簡単な練習
 第5回：「私は～です」の文型を使って職業を答える会話練習
 第6回：形容詞の説明と簡単な練習
 第7回：疑問文と否定文の説明と簡単な練習
 第8回：「あなたはどこの国の人ですか？」という質問に答える会話練習
 第9回：これまでのまとめ
 第10回：動詞avoirの説明と簡単な練習
 第11回：所有形容詞の説明と簡単な練習
 第12回：「この人は誰？」という質問に答える会話練習
 第13回：第一群規則動詞の説明と簡単な練習
 第14回：動詞faireの説明と簡単な練習
 第15回：総まとめ

【授業外学修】

一回90分の授業をきちんと理解するには、120分の自宅学習が必要です。

(1)まずは、指示された宿題を予習として必ず行ってください。予習には辞書あるいは電子辞書を必ず使い、分からない単語を調べましょう。

どの訳語が正しいかわからないなど、理解できない箇所は赤ペンでチェックし、次の授業中に教員に質問するなどして、わからない部分を放置しないよう努めましょう。

(2)授業後は、復習として本文や例文を何度も繰り返し、声を出して文章を読んで、基本文を暗記するようにしましょう。

(3)また、書き取り（聞いただけでフランス語が書けるかどうか）の練習も積み重ねてください。特に動詞の活用は何度も練習して、必ず暗記してください（書いて、言えるように）。その他、基本表現を含む短文をいくつかも暗記することも有効です。

(4)さらにフランス語力をつけたい人は、茨城大学図書館に所蔵している各種参考書（後述）を読み、練習問題を行ってください。実用フランス語技能検定試験（5級）の問題集に挑戦してみるのもお勧めです。

【アクティブ・ラーニング】

第2回から第8回と、第10回から第14回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。これらはいずれも解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。

第5回と第8回と第12回で行われる会話練習とは「ロール・プレイング」です。

履修上の注意/Notes

ゼロから始める語学は特に「初め」が重要です。遅刻は、授業のスタートに失敗することですから、厳禁です。早めに教室に入るようにしましょう。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+：初歩的なフランス語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。

A：初歩的なフランス語を修得し、その構造を理解している。

B：初歩的なフランス語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。

C：初歩的なフランス語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。

D：初歩的なフランス語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

学期中に数回行われる確認テスト（合計100%）で成績評価します。いわゆる期末試験（16週目に実施）は行いません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	バンド・デシネでフランス語。
著者名	神田大吾・藤原貞朗・猪俣紀子
出版社	
出版年	
ISBN	
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	コレクションフランス語』1. 入門
著者名	蘇我佑典ほか
出版社	白水社
出版年	
ISBN	
教材費	2300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	中国語入門	ナンバリング	KB-CHI-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	木4 (LPA) 木5(ST)	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P STA	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	中国語入門				
担当教員 (ローマ字表記)	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

中国語入門

授業の概要/Course Overview

中国語入門から準初級のクラス。

木曜に行く。

中国語の基礎となる発音および初級文法を学ぶ。会話の練習、単語や文法の学習などを進める。

ことばの背景にある中国の文化や社会事情についても適宜紹介し、関心を深めながら、実践的な語学力を身につける。

キーワード/Keyword(s)

中国語、初級会話、基礎文法、コミュニケーション能力、中国文化、中国事情

到達目標/Learning Objectives

中国語の基礎的な発音を修得して、初級文法を理解し、かつ初級会話もできるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1. シラバスを用いたガイダンス
2. 発音編 (1)
3. 発音編 (2)
4. 発音編 (3) & あいさつことば
5. レベル確認テスト I (発音編 & あいさつことば)
6. 第1課 お元気ですか (1課ごとに、文法要点→会話文を学び、練習問題で到達度を確認する)
7. 第2課 私は図書館に行く
8. 第3課 今日は何月何日
9. 第4課 ご家族は何人ですか
10. 第5課 今どこにいるの
11. 第6課 昨日どこへ行きましたか
12. 第7課 何を食べるのが好きですか
13. 第8課 私は店へ行って買い物をした
14. レベル確認テスト II (第1課から第8課までを範囲とする)
15. テスト解説と全体の復習

【授業外学修】

(1) 語学の習得には予習・復習が不可欠です。

1回90分の授業の理解には120分の自宅学習が必要だといわれています。

まずは、指示された宿題を予習として必ず行ってください。予習には辞書、電子辞書を必ず使い、分からない単

語を調べてください。理解できない箇所は赤ペンでチェックし、授業中に教員に質問するなどして、分からない部分を放置しないよう努めましょう。

授業後は、復習として、教科書に付属しているCDを利用し、何度も繰り返し聞いて、聞き取りと書き取りの練習を積み重ねてください。自宅学習では、必ず、大きく口を開き、声を出して文章を読みましょう。基本表現やイディオムを含む短文をいくつも暗記することも有効です。

(2)中国語の力をつけたい人は、中国語検定試験（4級・準4級）（最新の問題集は茨城大学図書館に所蔵）に挑戦してみるのもお勧めです。

(3)1日に1度は必ず中国語に触れるという日々の習慣を身につけることも重要です。日頃から中国語の情報をラジオ、テレビ、インターネットなどで見たり聞いたりして、中国および中国語に慣れ親しんでおきましょう。

【アクティブ・ラーニング】

(1)第2回～4回、第6回～13回の内容について、統一テキストを使用して、まず教員による講義を行う。それを踏まえて、教授された事を受講者が実践できるよう、受講者はペアに分れて、ロールプレイングシミュレーションおよび口頭発表を毎回行う。

(2)第5回、第14回、第15回については、到達度を測るテストを実施する。それにより学期中に教員が教授した事が受講者に定着したのかを明らかにする。ペーパーテストの場合、採点の上次の授業で返却、解説を行い、かつ復習を行う。

履修上の注意/Notes

- ・ 授業1回につき1課のペースで進める。上記のレベル確認テストI、IIの詳細などは、授業時に担当教員から指示する。
- ・ 遅刻、欠席は厳禁。不明な点は、まず担当教員に直接尋ねること。

情報端末の活用

無し

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

レベル確認テストI : 20点、II : 80点
期末試験期間中の16回目に試験は行わない。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	楽しい中国語教室
著者名	趙晴, 陳秦銀著
出版社	郁文堂
出版年	2013
ISBN	9784261018707.0

教材費	2500
-----	------

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	中日辞典 第3版
著者名	北京・商務印書館, 小学館 共同編集
出版社	小学館
出版年	2016
ISBN	9784095156040.0
教材費	7500

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

○

地域志向科目

--

使用言語

その他

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	朝鮮語入門	ナンバリング	KB-KOR-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	木4 (LPA) 木5(ST)	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L PSTA	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	朝鮮語入門				
担当教員 (ローマ字表記)	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

朝鮮語入門

授業の概要/Course Overview

朝鮮語の入門です。まずテキストの入門編でこの言語の文字と発音を学びます。この言語は漢字由来の単語も多いですので日本語と対照しながら学ぶことができます。そして基礎編では、「～です/ですか」、「～があります/ありますか」などの文章表現を学びます。また動詞や形容詞を学び、さらに過去形や未来形も学び、より豊かに表現として連用形や連体形も学びます。これにより、朝鮮語の全体像を理解することができます。

キーワード/Keyword(s)

韓国語・朝鮮語、文字と発音、基礎的な文法、基礎的な会話、文章読解、朝鮮半島の文化。

到達目標/Learning Objectives

- 1.韓国語・朝鮮語の文字と発音を修得することができる。
 - 2.韓国語・朝鮮語の基礎的な文法を修得することができる。
 - 3.基礎的な会話や文章読解や作文も修得することができる。
 - 4.朝鮮半島の文化に対する理解を深めることができる。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：ガイダンス及び文字と発音の概略の説明
 第2回：母音Ⅰ・子音Ⅰ
 第3回：母音Ⅱ・子音Ⅱ
 第4回：「学生です。」
 第5回：「日本人ではありません。」
 第6回：「どこに行きますか。」
 第7回：確認テストⅠ
 第8回：「お座り下さい。」
 第9回：「行かれませんか」と「行きません」。
 第10回：「12時まで待ちました。」
 第11回：「日曜日に行くつもりです。」
 第12回：「おいしい焼肉、食べたいです。」
 第13回：「私も行かなければなりません。」
 第14回：確認テストⅡ
 第15回：総まとめ

【授業外学修】

(1)第2回から第6回までと、第8回から第13回までは毎回「双方向型問題演習」として、読み、書き、聞く力をつけるための小テストを行いますので、毎回の授業の後、基礎的な単語や挨拶や簡単な文章を繰り返し練習して覚えることが大切です。

(2)第7回と第14回では、「振り返り」として確認テストを実施します。授業時間外によく復習し、授業内容を十分に理解することがとても大切です。

(3)この言語は日本語ととても近く、とくにこの言語の7割近くを占める漢字由来の単語(漢字語)は日本語の漢字の「音(おん)」にかなり近いですので学びやすいです。またこの言語と日本語の発音の間には法則性がありますので、授業中に聞いた教員の説明を思い出しながら教科書を復習すればその法則性を理解できて、比較的容易に両言語の音の対応関係に気づくことができます。

(4)ネットで試みに、韓国の新聞『東亜日報』や『朝鮮日報』というキーワードで検索して、現れた日本語情報を言語選択で「韓国語」を選べば、記事が翻訳されます。また、気になる韓流スターやK-popの歌手名を入力して韓国語版の説明等を読むことでも文字と発音を独習することができます。さらには、ネット上の映像を繰り返し視聴する中で、特定のフレーズが特定の場面と結びついていることがすぐにわかります。このようにして、この言語に頻繁に接する中で自然に語学力が身につけていきます。

【アクティブラーニング】

小テストならびに確認テストは翌週の授業で返却して解説を行い、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。

履修上の注意/Notes

つねに朝鮮半島関連の情報やテレビや映画に関心を持つことが大切です。また学内外の留学生との交流にも積極的に参加することを望みます。遅刻は原則として認めません。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：初歩的な朝鮮語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：初歩的な朝鮮語を修得し、その構造を理解している。
- B：初歩的な朝鮮語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：初歩的な朝鮮語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：初歩的な朝鮮語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

確認テスト：50%、小テスト（合計）：50%。16回目の期末試験はありません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	ハングル初級
著者名	邊恩田著
出版社	白水社
出版年	2002
ISBN	4560017727.0
教材費	

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	スペイン語入門	ナンバリング	KB-SPA-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	木4 (LPA) 木5(ST)	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P STA	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	スペイン語入門				
担当教員 (ローマ字表記)	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

スペイン語入門

授業の概要/Course Overview

<p>スペイン語の入門クラス。スペイン語は英語、中国語などに次いで話者数の多い言語であり、その数は少なく見積もっても4億人に及ぶと言われている。習得した者にはそれだけの世界が広がるということ。ヨーロッパ、南北アメリカ大陸に興味を持つ学生の受講を歓迎する。</p>

キーワード/Keyword(s)

<p>スペイン語、スペイン、スペイン語圏アメリカ (いわゆるラテンアメリカ・カリブ諸国、近年ではアメリカ合衆国も含む)、動詞ser、動詞estar、規則活用動詞。</p>

到達目標/Learning Objectives

<p>1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。 2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。 3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。 ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。</p>

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>第1回：シラバスを用いたガイダンスと、導入授業 (スペイン語のアルファベット、発音など) 第2回：アクセントの法則、簡単なあいさつ 第3回：名詞と形容詞の特徴と使い方 第4回：主語になる人称代名詞および動詞serの現在形活用 第5回：動詞serを使った日常表現 第6回：動詞estarの現在形活用 第7回：動詞estarを使った場所表現 第8回：特殊動詞haber (～がある、いる) および定冠詞・不定冠詞 第9回：規則活用動詞 (-ar) の用法 第10回：規則活用動詞 (-er, -ir) の用法 第11回：動詞tener (持つ) の様々な用法 第12回：動詞ir (行く) とvenir (来る) 第13回：動詞querer (～がほしい、～したい) 第14回：動詞poderとsaber (～ができる) の相違 第15回：まとめ</p> <p>【授業外学修】 (1) 第2回から第14回まで毎回、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。一部</p>
--

は宿題（ミニ・レポート）にもなりますから、辞書を使った予習・復習を行うことが大切です。英語とは辞書の引き方が異なるため、授業内に適宜辞書の使い方を解説します。

(2)ラジオ・テレビ教材、問題集を通じた語学の習得方法、生きたスペイン語に接するための映画・音楽・ニュース媒体等を授業で紹介します。語学の背景であるスペイン語圏の文化にも積極的に触れてください。

【アクティブラーニング】

第2回から第14回まで、毎回「双方向型問題演習」を行います。

履修上の注意/Notes

新しく学ぶ外国語であるからには、毎回の出席が義務付けられる。やむをえず欠席の際には、その回の内容について必ず教科書等で自習しておくこと。また、不明な事項があれば授業内または授業後に質問の上で、次回までに疑問点を残さないこと。

情報端末の活用

全員一律での活用は予定していない。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+：初歩的なスペイン語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。

A：初歩的なスペイン語を修得し、その構造を理解している。

B：初歩的なスペイン語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。

C：初歩的なスペイン語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。

D：初歩的なスペイン語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

授業内での課題演習（合計50%）と項目ごとの小テスト（合計50%）とを合わせて総合的に評価する。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	動く!スペイン語
著者名	福嶋教隆 著
出版社	朝日出版社
出版年	2008
ISBN	4255550239.0
教材費	2600

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎

コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--